

水性シリコン外カベ用

塗り方

①下地調整

●はがれかかった古い塗装やサビは、皮スクリヤー・ブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に剥離させます。
●ひび割れやすきなどは、あらかじめコーキング材やシーリング材などで補修しておきます。
●塗る面の汚れ(ホコリ・カビ・藻(モ)・コケなどを取り、適量・フックスはペイント用うすめ液で拭いてよく落とします。

②養生

●塗料がついて固まるところは、あらかじめマスキングテープやマスカーなどでおおいます。

③よくかきまぜる-1

●塗料は、樽などで容器の底までよくかきまぜて均一にします。(フタを開ける前に、缶を逆さにして十分振り動かせば、よくまぜられます)

③よくかきまぜる-2

●塗料を使い切る場合は、缶の底面を缶切り等で切り開き、樽などで、缶の底までよくかきまぜて均一にします。

④塗装-1

●コーナや塗りにくいところは、先にすくいバケやミニコナバケで塗っておきます。

④塗装-2

●広い面積の部分は、ローラー・バケ・コナバケ・アサヒペンオートローラー等を使うと、速く、楽に塗る事ができます。

⑤あとしまつ

●塗装が終わったら、ハケや用具は乾かないうちに水で洗います。
●残った塗料は、固くフタをして保管します。
●マスキングテープなどの養生は、塗料が手につかなくなったらはがします。

危険

●通信性疾患のおそれ
●水生生物に毒性

救急処置

●目に入った場合には、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●吸って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●高熱、ガスなどを吸い込んだりで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

●塗った面についた汚れは落としにくくなりますので、早めに落として下さい。

水性シリコン外カベ用

超耐久 シリコン架橋システム

ツヤあり 防藻剤配合 防カビ剤配合

各種サイディング モルタル・ブロック・リシン仕上 汚れに強いフッ素樹脂配合

乾燥時間 夏期/30分~1時間 冬期/2~3時間	塗り重ね時間の目安 夏期/2時間以上 冬期/6時間以上
標準塗り面積(2回塗り) 13~16㎡ (タタミ8~10枚分)	標準塗り面積(2回塗り) 38~51㎡ (タタミ23~30枚分)

8kg

●塗りにくいときは 水 (5%以内) でうすめて下さい

●無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません

ASAHIPEN CORP. 注意書きをよく読んでから使用して下さい。

水性シリコン外カベ用

超耐久 シリコン架橋システム

ツヤあり 防藻剤配合 防カビ剤配合

各種サイディング モルタル・ブロック・リシン仕上 汚れに強いフッ素樹脂配合

乾燥時間 夏期/30分~1時間 冬期/2~3時間	塗り重ね時間の目安 夏期/2時間以上 冬期/6時間以上
標準塗り面積(2回塗り) 13~16㎡ (タタミ8~10枚分)	標準塗り面積(2回塗り) 38~51㎡ (タタミ23~30枚分)

8kg

●塗りにくいときは 水 (5%以内) でうすめて下さい

●無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません

ASAHIPEN CORP. 注意書きをよく読んでから使用して下さい。

水性シリコン外カベ用

商品名	水性シリコンアクリル外カベ用
品名	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、防カビ剤、防藻剤、水
特長	●特殊フッ素樹脂、シリコン架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により汚れにくく、耐久性が格段に優れた高性能塗料です。 ●酸性雨や酸性雪・排気ガス・塩害に強い塗料です。 ●防カビ剤・防藻剤の配合により、長期防カビ・藻(モ)・コケの発生を防ぎます。 ●厚塗りしてもタレにくく、たいへん塗りやすい塗料です。 ●金属系・木質系・無機セメント系・セラミック系などの各種サイディングの塗り替え ●コンクリート・モルタル・ブロックなどの外まわりの壁やヘイ 絶えず水がかかったり水につかることや、いつも濡れているところ、また床面には適しません。
用途	●表示の用途以外に使用しないで下さい。 ●目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。 ●塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。 ●塗料がついても支障がない服装で作業をして下さい。 ●塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。 ●塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。 ●特殊なサイディング・コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり、密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。 ●コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。 ●塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。 ●塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。 ●ペイントスプレーヤーを使用する場合は、空打ち状態にならないように注意して下さい。 ●容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。 ●高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また塗膜と塗膜・ビニール・レザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。 ●やむを得ず塗料を捨てる場合は、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
下地処理の注意	●つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。 ●旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗る場合は、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。 ●カビがはえている所はカビリ剤でカビをとってから塗って下さい。 ●藻(モ)、コケがはえている所は、水をかけながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。 ●鉄部に直接塗る場合は、十分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。 ●新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後3週間以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。
保管上の注意	●幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。 ●直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。 ●残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

株式会社 ASAHIPEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 http://www.asahipen.jp

日本製 00-1205
プロテクター：プラスチック(PP) 容器：キャップ：スチール

お客様相談室 ☎06-6934-0300